

コスト、ロット、納期が持つ「無限の可能性」



「工」夫とアイデア次第で様々なことが出来るので、デザインが無限大に広がります。ちょっと街を歩いていても、「あれもできる、これもできる」と思えるようになります」。

（株）BRECEの藤本敬二郎社長は、ローランドディー・ジー・社の厚物UVプリンター「LEFシリーズ」を実際に導入し、活用した感想を語ってくれた。

同社は車のカスタムパーツ製作を手がける工房として2006年に創業。オリジナルデザインの内外装パーツやユニークな機能の電装パーツなどを作り、ネットショッピングなどで販売をおこなっています。消費者はこれらのパーツを購入し、自分の愛車にとりつけてカスタマイズを楽しんでいる。車のカスタムパーツと聞くとOGBSとはかけ離れているように思えるが、実際はオーダーメイド商品も多く、一般的なOGBSよりも深

く踏み込んだ技術が必要とされている。近年のヒット商品は、車名やイラストをプリントしたオリジナルデザインのエンジンスタートボタン「Ritorun（リトルラン）」。

エンジンスタートボタンは小さいパーツだが、オリジナルデザインを作るには、大変な労力やコスト、時間が必要だった。それが、「LEFシリーズ」を導入したことでの劇的に変化した。

印刷「コストがLEFで100分の1になつた！」

リトランの製作は、対応車種に合わせた金型を起こし、無地のボタンを作ることから始まる。そこにBRECE独自のデザインをプリント（塗装）するわけだが、それに時間やコストがかかる。

以前は試作品1つをプリントするのに約10万円かかっていた。ロットも100個単位で、納期は約2ヶ月。歩留りも悪く、100個



company profile

株式会社BRECE
〒223-0058
神奈川県横浜市港北区
新吉田東1-53-28
<http://www.brece.co.jp>
【事業内容】
◎自動車部品の企画、設計、研究開発、製造、販売
◎WEBサイトに関するコンサルティング、製作、管理
◎OEM請負（自動車ディーラー向け）

④藤本敬二郎社長（右）と取締役兼デザイナーの藤本博江氏（左）

の製品を作るのに無地ボタンを50個余分に印刷業者へ預けなければならなかつた。

これはボタンへのプリントが「タンポ印刷」という特殊な印刷方法を用いるためで、これまで時間やコストがかかる。

以前は試作品1つをプリントするのに約10万円かかっていた。ロットも100個単位で、納期は約2ヶ月。歩留りも悪く、100個

の業者がほとんどないんです。また、ボタンは内側から光る仕組みなので、光を透過させる部分、さ

①②オリジナルのエンジンスタートボタン「Ritorun」、③Cピラーのアクセサリーパーツ。夜間はハイブリッドマークが点灯する。④ICカードバスクース。これらを購入する車の愛好家たちは几帳面なので、高品質な仕上がりが要求される。藤本社長は、「そこが一番気を使うところです」。



⑥ BRECEオリジナルのシフトレバー。ロゴやイラストも精細に表現できている。



⑤ オリジナルのナンバープレートカバー。カッティングシートと違って上質な仕上がりになるのが好評。LEF-20を導入したこと、カバーを丸ごと機械内部に入れて1回でプリントできるようになった。

せない部分を作るため版がいくつも必要で、余計に時間がかかる。さらに、小ロット注文は後回しされがちなので、納期が伸びてしまうんです」（藤本社長）。

コスト、ロット、納期、歩留りの点で大きな問題を抱えていたエンジンスタートボタンだが、12年の秋に導入した厚物UVプリンタ「LEF-12」によって劇的に改善した。

フルオーダー品ゼロが500個に急成長

まずコスト。試作1個にかかっていた費用は「LEF-12」によつて100分の1までダウン。ロットも100個単位から1個に。納期も2ヶ月から翌日出荷が可能になつた。歩留りも大幅に改善し、以前は版ズレやゴミ噛みなどで不良品も多かつたが、それも「LE F-12」に変えたことでほぼゼロに。さらに「デジタルなので仕上がりが予想しやすい。完成イメージをお客さんに見せることができるようになって顧客満足度もアップしました」（藤本社長）。

導入の効果はこれだけではない。リトランは同社があらかじめデザインしたセミオーダー品販売がメインだったが、LEF-12によって1個から製造することが可

能になり、「以前はほとんどなかった、お客様の要望に合わせてオンラインのデザインをプリントするフルオーダーの注文が500個に増えたんです」。

セミオーダーのリトランは4000円（税別）、フルオーダーの場合は6000円（税別）で販売。経費圧縮だけでなく、客単価アップにも貢献している。

同社の躍進はまだまだ続く。何と、今年1月にはLEF-12の上位機種でワイドタイプの「LEF-20」を導入。

「仕事が増えて平日はプリンターがフル稼働している状態。さらに、大きい商品にも取り組みたかったから」と藤本社長。その理由は、更に生産性を向上させ、商品開発の幅を広げようというワケだ。

LEF-20の導入によつて今まで難しかつたナンバープレートカバーやスカッフプレート、スライドドアのドアハンドルへのプリントが可能になる。

また、藤本社長はLEFシリーズの良さについて、

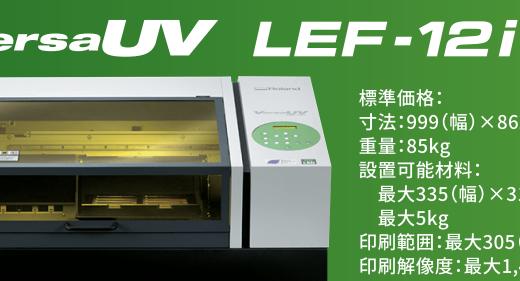
「ボリカやABSなどにインクの密着がいい。POMでも下地処理をすればプリントできるんです。内装のシボや木目も表現できる。白インクも遮光印刷などに重宝し

ています」。

同社では他にもバスケースやスマホカバーなど、様々な商材にUV

Vプリントをおこなうようになり、カーパーツ分野でのOGBSの最先端を走る存在に成長した。

「ユーナードニーズはどんどんオンラインのデザインをプリントするフルオーダーの注文が500個に増えたんです」。



標準価格：

寸法：990(幅)×862(奥行)×549(高さ)mm

重量：85kg

設置可能材料：

最大335(幅)×310(長さ)×100(高さ)mm

最大5kg

印刷範囲：最大305(幅)×280(長さ)mm

印刷解像度：最大1,440dpi

使用インク：ECO-UV(EUV、EUV4) 220cc

※印刷時に発生する臭気や揮発性物質を活性炭フィルターで除去する専用脱臭装置は別売り。

販促製品総合WEBカタログ

株式会社フジテックス

0120-522-664

<https://www.fjtex.co.jp/hansoku/>